

医療安全教育手法に基づく多職種人材育成共同利用拠点

多職種人材育成のための医療安全教育センター

Patient Safety Education Center for Multiprofessionals (PSEC)

https://psec.med.gunma-u.ac.jp/

PSEC SYMPOSIUM

群馬大学PSEC 医療安全教育シンポジウム

医療事故から何を学ぶのか

～患者参画を踏まえた臨床インシデントのシステム分析～

2026

11/3 火・祝

13:00～16:00

- 会　場　群馬大学昭和キャンパス ミレニアムホール およびオンライン（Zoom）
- 開催形式　ハイブリッド開催
- 参加費　無料
- 申　込　事前申込制

お申込みはこちら

https://forms.gle/kRL5TMyntjrChMPi8

3つの視点で学ぶ、医療安全のこれから

1 国際的な最新知見

Research and practice in systems analysis of clinical incidents: past, present and future challenges at the local and global levels



Tommaso Bellandi 氏

North West Trust, Regional Healthcare Service of theTuscany Region, Italy

「THE LONDON PROTOCOL 2024」共同著者であり人間工学の専門家である Bellandi氏から「人間工学の視点から学ぶ医療安全」についてご講演いただきます。

2 日本の臨床現場での実装

London Protocol 2024を日常診療へ実装するには（How to apply the London Protocol 2024 to daily clinical care）



相馬 孝博 氏

群馬大学大学院医学系研究科 客員教授

日本国内での導入・解説を精力的に行われている相馬氏より、臨床現場で活かすための具体的なシステム分析についてご講演いただきます。

3 患者・家族とともに考える

医療事故を経験した家族が望む原因分析の普及と実装



豊田 郁子 氏

イムスリハビリテーションセンター東京葛飾病院 医療安全対策室 医療対話推進者

患者・家族と医療をつなぐNPO法人架け橋 理事長

患者・家族と医療をつなぐ活動を通じ、医療安全における患者・家族の参画や医療者との対話に取り組まれている豊田氏より、患者やご家族などの当事者の視点からご講演いただきます。

本シンポジウムは、国際的なインシデント分析手法である「ロンドン・プロトコール2024」の日本語訳公開を受け、国内での普及と実装を目指して開催いたします。医療事故やインシデントを個人の問題として捉えるのではなく、その背景にある要因を捉え、組織的な学習と改善につなげる分析の考え方と活用方法を学びます。さらに患者や家族などの当事者の視点を通して患者参画の重要性を共有し、医療安全教育および実践のさらなる充実につなげます。

群馬大学 GUNMA UNIVERSITY

共催：群馬大学多職種人材育成のための医療安全教育センター（PSEC）
群馬大学大学院医学系研究科 医療の質・安全学
群馬大学大学院医学系研究科 医学教育開発学
群馬大学多職種連携教育研究研修センター